



〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

TEL (0263)53-8802 FAX (0263)51-1290 E-mail: kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

2009年5月の創刊号から12年、150号を迎えました。
今後ともよろしくお願いたします。

目次

「センター評議員会を開催しました」	p.1
「11月中旬までの研修講座の実施方法の一覧」	p.2
「今年度の研修講座の様子」	p.3
「ご利用ください!『休みの課題帳』」	p.4

センター評議員会を開催しました

10月4日(月)に評議員会を開催しました。

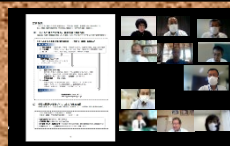
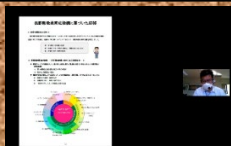
本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に鑑み、オンラインで開催しました。

当日は、所内での研修や生徒実習の様子を動画でご視聴いただきました。

その後、研修、生徒実習、研究調査、教育情報、教育相談の各事業についてご説明させていただきました。

評議員会の様子 (Zoom)

頂いたご意見 (抜粋)



<令和3年度 長野県総合教育センター評議員(敬称略)>

- | | |
|--------|---------------------------|
| 志川 真一 | 長野県小学校長会 会長 |
| 山口 真一 | 長野県中学校長会 会長 |
| 巻山 圭一 | 長野県高等学校長会 副会長 |
| 山口 博 | 長野県特別支援学校校長会 ブロック長(中信) |
| 大内 勝 | 長野県国立幼稚園長会 会長 |
| 西澤 盛人 | 長野県PTA連合会 副会長 |
| 鈴木 美鈴 | 長野県高等学校PTA連合会 副会長 |
| 近藤 守 | 長野県市町村教育委員会連絡協議会 会長 |
| 赤津 勝広 | 塩尻市中央公民館 館長 |
| 粟倉 梅代 | 塩尻商工会議所 女性会 会長 |
| 香山 瑞恵 | 信州大学工学部電子情報システム工学科 教授 |
| 神津 利信 | 信濃教育会教育研究所 部長 |
| 塚田 信之 | 長野県産業教育振興会 会長 |
| 伊藤 かおる | 株式会社コミュニケーションズ・アイ 代表取締役社長 |
| 高山 雪 | 松本大学教育学部教職センター 講師 |

- ・オンラインだから参加しやすい。参集とオンラインのベストミックスを目指してほしい。
- ・BYODを進めてほしい。
- ・ICT活用によって学びが深まるような研修を望んでいる。
- ・ICT活用が高いレベルで標準化されるような研修の取組をお願いしたい。
- ・今後も、最新の情報を先生方に吸収してもらえる講座を開講してほしい。
- ・子どもたちの学びの場を保証するために研修全体の見直しが必要だと思う。
- ・これからの学校の在り方を示す先を見据えた研修施設であってほしい。

様々な立場の方から、貴重なご意見をいただきました。

いただきましたご意見は、今後の事業運営及び研修講座づくりに反映させてまいります。

11月中旬までの研修講座の実施方法の一覧

※ こちらは「しののめ」発行時(10月25日現在)の一覧です。
最新情報は

ホームページ(コロナ対応特設ページ)

<http://www.edu-ctr.pref.nagano.jp/info/index.html>

を随時ご確認ください。

令和3年度 11月 総合教育センター研修講座 実施方法一覧

10月25日現在

各講座の変更やZoom等の接続方法について、講座担当者からメールまたは電話、FAX等で、管理職の先生を通じて受講者の方々に、随時連絡をしています。
過日センター連絡用にご登録いただいたメールアドレスの、メール確認をお願いします。

講座番号	講座名 サブタイトル	担当部	講座期間	講座の形態	別途連絡
3-6-03-44 1	特性の理解と支援 応用Ⅳ ～認知特性に応じたコミュニケーション支援～	生特	11月1日(月)	オンライン	有 10月22日 メール済
1-4-01-01 1	キャリアアップ研修Ⅲ キャリアアップ講座 ～校外研修A(総合教育センター主催)～	教職	11月2日(火)	参集 【総合教育センター】	無
3-1-09-24 1	家庭科 基本Ⅳ ～信州の食文化と食生活の授業づくり～	教科	11月2日(火)	参集 【総合教育センター】	有 準備中
3-1-05-22 1	小中連携英語 基本Ⅱ ～小学校の授業から考える小中連携～	教科	11月4日(木)	参集 【総合教育センター】	無
3-1-08-21 1	中学校・高校美術 基礎 ～美術教育の授業構想～	教科	11月4日(木)	参集 【総合教育センター】	有 準備中
3-1-04-25 1	高校理科 基本Ⅱ ～課題探究活動の指導法～	教科	11月5日(金)	オンライン	有 準備中
3-1-04-26 1	高校理科 基本Ⅲ ～課題探究のまとめと発表の指導法～	教科	11月5日(金)	オンライン	有 準備中
3-1-05-41 1	中学校・高校英語 応用 ～自己表現力を高めるための指導～	教科	11月5日(金)	参集 【総合教育センター】	無
1-1-02-16 1	高校初任者研修 教科指導基礎研修ⅣA	教職	11月9日(火)	参集 【各協力校】	有 10月11日 メール済
3-1-07-41 1	音楽 応用Ⅰ ～箏の奏法・指導法を学ぶ～	教科	11月9日(火)	参集 【総合教育センター】	有 10月18日 メール済
3-4-12-41 1	工業 応用 ～画像診断技術によるロボット制御～	情産	11月11日(木)	参集 【総合教育センター】	無
3-9-01-04 1	長野県の子どもの自殺と現状と課題 ～今、私たちにできること～	生涯	11月12日(金)	参集 【総合教育センター】	無
3-4-10-22 1	産業教育 基本Ⅱ ～「課題研究」を探究的な学びへ～	情産	11月15日(月)	参集 【総合教育センター】	無
3-1-04-27 1	高校理科実験 基本 ～物化生地のつながりが見える実験～	教科	11月17日(水)	参集 【総合教育センター】	無
3-1-15-22 1	総合的な学習・探究の時間 基本Ⅱ ～地域をフィールドにした学び～	企画	11月19日(金)	オンライン	有 10/20 事前連絡済

今年度の研修講座の様子

小学校国語科 基本 ～全国学力・学習状況調査から考える授業改善～ 9月3日

この講座では、全国学力・学習状況調査の結果から、子どもたちの課題をとらえ、育む資質・能力(指導事項)を明確にした授業改善(単元づくり、授業づくり)について考え、話し合いました。

<主な内容>

- 講義 「全国学力・学習状況調査から考える授業改善」
- 演習 「調査問題を活用した授業アイデア」
(説明的な文章を読み、分かったことをまとめる)
- 情報交換 「日々の授業における課題や不安を語り合う」

<担当者の感想>

調査官から、調査の結果を踏まえ、各問の誤答の例を挙げながら、育成すべき資質・能力、授業改善に向けたアイデア等を紹介していただいたことで、日々の授業を振り返ることができたのではないかと思います。また、調査官の話を受け経験年数の異なる先生方とともに情報交換を行ったことは、これからの国語の授業改善について考える貴重な時間になったのではないかと考えます。

◆◆受講者ふりかえりから◆◆

- ・調査の結果から、テストの練習をするのではなく、日頃の授業から全国学調で問われる能力が身につくような授業構成を考えることが大切だと感じました。
- ・小学校全体としてのつながりの結果が6年生で発揮されることを考えても、系統を意識しながら、子どもたちに力をつけていきたいと思いました。そのためにも、全員の先生方にも今日の研修のことについてお伝えして、学校全体で考えていきたいと思いました。
- ・自校の調査の結果をしっかりと分析して、授業改善に役立てる必要を改めて感じました。子どもの状況に合わせた授業にしていきたいです。

受講風景



調査官による講義

課題や不安を語り合う様子

信州大学教職大学院連携講座

学級づくりと学校づくり ～チーム学校と新たな学級経営～ 8月2日

長野県総合教育センター受講者、信州大学教職大学院生、次代を担う中核教員養成研修者の皆さんが、合同で学ぶ機会となりました。ミドルリーダーとして自校の実態と照らしながら、学級づくりや学校づくりにおける具体的な方策を見いだしました。



講師:信州大学教職大学院 准教授 青木 一先生

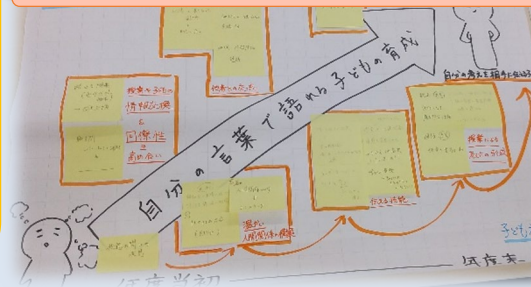
前半は、支援を要する子どもをつつむ学級づくりについて、支援チームシミュレーションをしながら、互いにアイデアを出し合いました。

後半は、チーム学校と同僚性・協働体制づくりについて、SWOT分析をもとに学校戦略MAPを作成しながら、学校改善ビジョンを考え合いました。

支援チームシミュレーションの様子



SWOT分析をもとにした学校戦略MAP



◆◆【受講された先生方の「振り返り」より】◆◆

- ・支援が必要な子どもへの個別の対応も必要であるが、その子の周りにいる子どもへの目の向け方、かかわり方も学級経営の大切な視点であることに改めて気付かされました。
- ・与えられたことをこなすだけでなく、自分事として学校づくりにかかわっていくことの大切さを学ぶことができました。中堅と呼ばれる立場になり、不安を感じていましたが、自分のできることを着実にしていこうと思うことができました。



ご利用ください！「休みの課題帳」



10日間でできる学びの振り返りと定着

教育情報「学びの広場」には、国語、算数・数学、理科の年末年始休み用と春休み用の休みの課題帳があります。

年末年始休みの課題帳は、12月までに学習してきたことごとを確認することができ、知識・技能を問う問題と思考・判断・表現を問う問題で構成されています。以下に、各教科の課題帳の一例を紹介します。

中学1年 数学6

右の図のようにストローを並べて、六角形をn個つくるのに必要なストローの本数を考えます。

例えば、六角形を3個つくるのに必要なストローは右の図のように、16本です。

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 六角形を5個つくるのに必要なストローの本数を求めなさい。

(2) 図1のようにストローを囲むと、六角形をn個つくるのに必要なストローの本数は、次のように説明できます。

図1

説明

ストローを図1のように囲むと、1つの囲みにストローが6本ある。その囲みがn個あるので、この囲みで敷いたストローの本数は6n本になる。このとき、2回敷いているストローが1本あるので、必要なストローの本数は6n本より1本少ない。したがって、六角形をn個つくるのに必要なストローの本数を表す式は、 $6n - 1$ になる。

上の説明の□には、同じ式が当てはまります。□に当てはまる式を、nを用いて表しなさい。

(3) 図2のように囲み方を変えてみると、六角形をn個つくるのに必要なストローの本数は、 $6 + 5(n - 1)$ という式で表すことができます。六角形をn個つくるのに必要なストローの本数を表す式が $6 + 5(n - 1)$ になる理由について、下の説明を完成しなさい。

図2

説明

ストローを図2のように囲むと、

したがって、六角形をn個つくるのに必要なストローの本数を表す式は、 $6 + 5(n - 1)$ になる。

算数・数学

(対象学年：小4～中2)

【学校をしようかいする文章の一部】

ア 学校ができた年

菜の花小学校は、平成10年4月に開校しました。創立10周年をむかえた学校です。

イ 学校の児童数

菜の花小学校の児童数は、370人です。児童数は、毎年少しずつ増えています。

年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
人数(人)	358	363	370

ウ

学校ができるときに、地域の人々から学校名を募集したところ、いろいろな名前が集まりました。話し合いの結果、学校名は、「菜の花小学校」に決まりました。春になると、学校の周りは、菜の花で黄色いじゅうたんをきつめたようになります。

国語

(対象学年：小5・中2)

2 身のまわりの物質、化学変化と原子・分子

1 身のまわりの物質について、次の問いに答えなさい。

(1) 体積3cm³の銅の質量を測定すると2.7gだった。銅の密度は何g/cm³か、求めなさい。

解答

g/cm³

(2) 酸素、二酸化炭素、アンモニアの集め方を、次のア～ウからそれぞれ選びなさい。

ア イ ウ

解答

酸素：
二酸化炭素：
アンモニア：

2 次の文の□～□に当てはまる適切な語句を答えなさい。

食塩を水にとかずと食塩水ができる。このとき、食塩のようにとけている物質を□という。水のように食塩をとかず液体を□という。

水4.5gに食塩5gをとした食塩水の質量パーセント濃度は□%である。

解答

あ い う

3 右図のように、酸化銀を加熱したところ気体が発生して、白い固体が残った。次の問いに答えなさい。

(1) この気体に火をついた線香を入れたとき、炭を出して激しく燃えた。発生した気体は何か、答えなさい。

解答

(2) 試験管に残った白い固体は何か、物質名を答えなさい。

解答

(3) この実験のように、1種類の物質が2種類以上の物質に分かれる変化を何というか、答えなさい。

解答

理科

(対象学年：小5・中2)

～休みの課題帳の活用方法例～ 学年や教科の学習状況に合わせて

- 「年末年始休みの課題帳」を全面的に活用
- 市販の休み帳や受験用参考書等の課題に加えて、「年末年始休みの課題帳」の応用問題などを追加



長野県総合教育センターHPトップ画面

教育情報「学びの広場」

教科教育

休みの課題帳